第4回日野市ごみ減量・リサイクル等推進協議会 要点録

■会議の日時等

日時 令和4年(2022年)5月16日(月) 午後3時00分～

会場 日野市クリーンセンター プラスチック類資源化施設 2階多目的室

出席者 **協議会委員**

【廃棄物に関し学識経験のある者】

宮脇委員、小野寺委員

【市民委員】

高橋委員、比留間委員、加納委員、佐藤委員、畑中委員、岩見委員

【ごみ減量の推進体制の構築に資する事業者及び団体の関係者】

高松委員、新野委員、多治見委員、津嶋委員、後藤委員、星野委員、内田委員

【環境保全課長】

中平委員

【施設課長(クリーンセンター長兼施設課長)】

小笠委員

事務局

【ごみゼロ推進課】

高尾課長、高橋課長補佐、山口主任

欠席者 **協議会委員**

【市民委員】

新井委員、影山委員、木村委員、平井委員

傍聴者 なし

次第

1. 会長挨拶
2. 動画「ごみゼロ社会を目指して～今、わたしたちにできること～」
3. 令和3年度ごみの排出量(速報値)
4. 中間検証
 - ・適正なりサイクルの推進
 - ・ごみ減量の意識向上に向けた普及啓発・情報提供
5. 学生の発表(日野市のごみ減量・リサイクル等の施策についての感想や意見)
6. 後期に向けたごみゼロプランの改定について
7. その他

配布資料

- 資料1 第3次ごみゼロプラン施策別進捗状況確認シート
(適正なりサイクルの推進、ごみ減量の意識向上に向けた普及啓発・情報提供)
- 資料2 令和3年度ごみの排出量(速報値)
- 資料3 後期に向けたごみゼロプランの改定について
- 資料4 第3次ごみゼロプラン改定に向けた回答用シート(イメージ)

■主な内容

1. 会長挨拶

会長より挨拶。

2. 動画「ごみゼロ社会を目指して～今、わたしたちにできること～」

日野市のごみ・資源物処理の現状や、ごみ減量・リサイクル推進に関する啓発動画を委員に紹介(視聴)

3. 令和3年度ごみの排出量(速報値)

事務局より、令和3年度総ごみ量、総資源化率、1人1日当たりごみ量や、種類別のごみ・資源物の増減傾向等について、資料2に沿って説明。

【質疑応答・意見等】

Q:資源の売価は上がっているのか。逆有償のものもあるのか。

A:市場がどのような動きをするのか、年によって変わる。製品プラは、当初売却益を見込んでいたが、海外に輸出出来なくなった影響で逆有償になっている。

意見:総資源化率については、資源物のRefuse(発生抑制)の浸透で数字が落ちる等、評価が難しい。「総ごみ量」と「1人1日当たりごみ量」を指標として見ていくのが適当。

意見:雑紙が減っているのは、書籍等の電子化で発行部数が減っていること、リモートワークで紙ベースのものが減っていること等が要因と考えられる。

4. 中間検証

事務局より、第3次日野市ごみゼロプランの施策のうち「適正なりサイクルの推進」「ごみ減量の意識向上に向けた普及啓発・情報提供」部分の中間検証について、資料1に沿って説明。

【質疑応答・意見等】

Q:古布が増えているようだが、回転市場のリサイクルも増えているか。

A:増えている。みなさん「もったいない」気持ちで提供下さる。コロナ禍で週3日の開店

なので何とか回している。

Q:プラスチックの分別で、市が困っていることは何か。市民は何に気を付けたらよいか。

A:汚れたものや2重袋が困る。また、いまだに不燃ごみ袋に相当量プラが混入している。

意見:ごみの出し方について学生さんへの啓発もあつたほうがよいのではないか。

意見:ごみの問題はなかなか若者に届いていないと感じる。伝えることが必要。

意見:生ごみリサイクルステッカー発行枚数を増やすことが目的ではなく、生ごみを減らすことが大事。LFC コンポストやキエーロ等新しいものの紹介もしていくべき。

Q:市が推奨する生ごみ処理器はダンボールコンポストだけなのか。

A:電気式以外はみんな補助の対象。

意見:生ごみ削減の目標値を掲げて、生ごみ処理器普及に取り組むのがよい。

意見:飲食店での食べ残し削減の啓発にもしっかり取り組んでいくべき。

意見:市内産の竹パウダーを活用して、コミュニティガーデンで生ごみの受け入れを拡大したい。

意見:堆肥化だけでなく、キエーロのような「消滅型」のツールも選択肢にあるとよい。ごみを減らすための「自家処理」を強力的に推進するべき。

意見:コミュニティガーデンは現在3か所で準備している。地域住民がコミュニティガーデンをつくりやすいように、ごみゼロ推進課だけでなく市の各課に横断的に取り組んでほしい。

意見:事業系生ごみについては、排出事業者民間堆肥化施設を紹介して、出来るだけそちらに持って行ってもらうのも有効かと思う。

Q:紙おむつのリサイクルについて、東京都の検討状況はどうか。

A:エリアを限って実証実験中。具体的な処理方法は未定。

意見:民間資源化事業者に委託するのが、最初はやりやすいのではないか。

意見:新たなリサイクル(資源化)の検討においては、環境負荷全体を考えることも大切。

Q:「ごみカフェ」について、準備会を立ち上げたのか。

A:第3次ごみゼロプラン前期に出来たのは、当協議会の立ち上げまで。

Q:カワセミハウスを「ごみカフェ」に活用出来るのではないか。

A:今後、カワセミハウスを、ごみ分野も含めた SDGs 推進のための情報交換や発信の拠点として活用できるよう検討していきたい。

5. 学生の発表（日野市のごみ減量・リサイクル等の施策についての感想や意見）

学生委員より、日野市のごみ減量・リサイクル等の施策についての感想や意見を発表。

6. 後期に向けたごみゼロプランの改定について

事務局より、改定プランの内容案と策定へ向けたスケジュールについて、資料3に沿って説明。

次回 令和4年9月27日(火)午後3時～午後5時

クリーンセンター プラスチック類資源化施設 2階多目的室